

みらい

Vol.45

田名整形外科クリニック
上溝整形外科リハビリクリニック



いつもの場所

昨年プロボクサー、セミプロのサッカー選手など多くの有名な一流選手が訪れました。子供には将来があります。きちんと障害を治し、予防しながら育てたいと思います。また、中高齢のスポーツ愛好家は、多忙に加えて、加齢によるコンディション不良のため、自主トレが一定してできず苦労されていることでしょう。さらに昨年の夏のような猛暑では、コンディションを一定に保つことは難しいと思います。

そこで今年も、数あるトレーニングの中から「自分に合った自主トレ」を2〜3個見つけ出して、続けることを提案します。

本年もスポーツ医学の発展とともに傷害、疾患を治療・予防し、皆様が健康な生活を送れるよう診療したいと思います。



昨年はおめでとうございます。謹んでお慶び申し上げます。

昨年はFIFAサッカーワールドカップがありました。楽しかったですね。学ぶことも多かったですし、スポーツの素晴らしさを再確認できました。

上溝整形外科リハビリクリニック 院長 千葉昌宏

新年の御挨拶

昨年、田高や近隣諸国とのいろいろな問題が大きな話題になり、医療に関することはあまり話題にならなかったように思います。今年は悪評の後期高齢者医療保険制度が新しい制度に変わりそうです。田名整形外科クリニックが開業した頃は、お年寄りが1カ月1000円の定額制で医療を受けることができたことを考えると、これからの医療について関心を持たざるを得ません。私たち医療の末端を支える開業医は、今までと同じように乳幼児の予防接種を始め、健診、学校医、産業医など地域の健康を守ることが更なる責務になるように思います。

私たち医療法人未来は新しい年を迎え、開業時の初心を忘れることなく地域に根ざした医療の一端を担うべく、職員一同努力していく所存ですのでよろしくお願いたします。



新年明けましておめでとうございます。田名整形外科クリニックは今年成人式、20回目、上溝整形外科クリニックは8回目のお正月を迎えました。今年が皆様にとって明るく健やかな年になりますように祈念しております。

田名整形外科クリニック 院長 木内哲也

新年を迎えて

田名整形外科クリニック 院長 木内哲也

教えて理学療法

リハビリ科長 狩野 広大

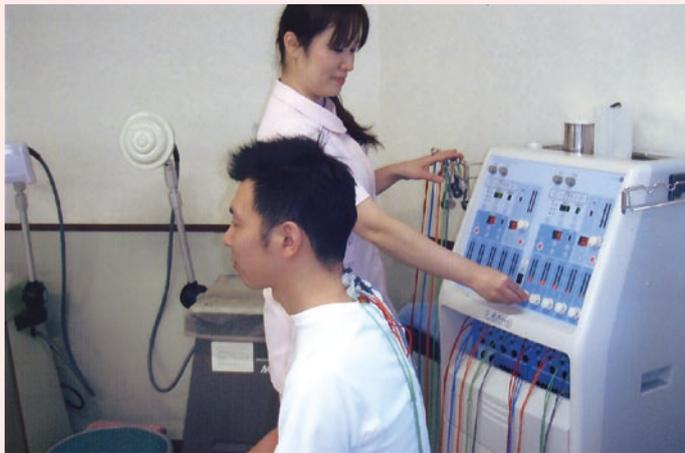


今回は、電気療法についてご説明したいと思います。当院では、首や腰などの痛みに対してSSP療法を用いた治療を行っています。患部に円錐状の電極をつけて電気刺激を加えることにより痛みを和らげる治療です。

みなさん、「痛い痛い飛んでいけー」と患部をさすっていると、だんだん痛みが和らいでいく経験をしたことはありませんか？ 今回のテーマである電気療法による鎮痛効果は、これと同じ原理を利用した治療方法です。

SSP療法のような、皮膚から電気を流して治療する方法を経皮的電気神経刺激法といいます。電気を流すことで体内にある神経を刺激します

(「痛い痛い飛んでいけー」で患部をさすることと同じ)。そうすると、今まで痛みを伝えていた神経の働きが抑えられて痛みを和らげることが出来ます。こうして痛みを和らげることで、痛くて動かせなかった関節が動かせるようになったり、筋肉のこわばりが良くなったりと症状が軽くなっていきます。



肩のSSP療法



腰のSSP療法

表紙
写真

銀ちゃん (ミニチュアダックスフント♀) Photo by 銀父
火がつくと、いつもこの場所を陣取ります。

訪問リハビリテーションを始めました。詳細につきましてはお問い合わせ下さい。



医療法人未来

田名整形外科クリニック

TEL:042(761)7000

上田名交差点より大島方向500m

水曜午前は、東海大学内科医師による診療もしております

上溝整形外科リハビリクリニック

TEL:042(786)7700

駅より1分、かみみぞクリニックビル3F

<http://www.mirai-med.or.jp>

